

Q

仙元山公園陸上競技場の改修の考えは

A

大規模改修に向けてスポーツ主管課とも協議を進める



き 樹 秀 島 福



映像は
こちらから

Q 仙元山公園陸上競技場を改修した場合、どの程度の費用になるのか。

A 全天候型陸上競技場を所有している東松山市へ確認し、東松山市の建設費を基に試算したところ、解体費や設計費等を含めて10億円近い予算が必要になると想定される。

Q 市の財政負担軽減を図る方法の補助制度については。

A それぞれの補助制度を並行して活用することは出来ないが、国土交通省の交付金では2分の1、スポーツ振興くじ助成金では3分の2となっており、それぞれの補助制度の予算状況により、補助割合以内での補助となる。利用可能な補助制度についても併せて検討する。

●高齢者・一人暮らしの方の防災対策について

Q コミュニティFMを活用した防



FM ぶっかちゃん

災ラジオを高齢者や一人暮らしの方へ貸与する考えは。

A 深谷コミュニティFMを受信できない地域があるなど、大きな課題もあるが、防災ラジオの導入効果など研究を行う。

Q 災害時に、深谷コミュニティFM・メディアに市のサテライト機能を設置する考えは。

A 現時点では設置する考えはないが、深谷コミュニティFMとも、災害時の情報発信について、引き続き協議、連携を図っていく。

Q

脱炭素先行地域指定への積極的なアプローチを

A

重要な事業と捉えており積極的に取り組んでいく



み た べ つね あき
三 田 部 恒 明



映像は
こちらから

市では実態調査を行い対策を協議・検討しているが、相談・支援体制の強化を図るべきである。

A ヤングケアラー取組として関係機関・部署と協議を適宜行い、協力体制を整え対応することが重要であることから検討を重ねている。まずは学校が実態把握を行い、スクールソーシャルワーカーなどに繋げ、必要な支援策を具体的に講じる福祉部門にて支援をする。現在、ヤングケアラー支援も含めて、複合的な問題を抱える方の受け皿となるワンストップ型の「福祉総合相談窓口」設置に向け準備を進めている。協議を進め認知度向上への啓発に取り組む、効果的な支援策を講じていく。



ヤングケアラーの相談・見守り体制づくり

Q

ICTを活用した鳥獣害対策を行う考えはあるか

A

国庫補助事業の活用を含め、研究していく



つ の だ よ し の り
角 田 義 徳



映像は
こちらから

Q タヌキ、ハクビシン等の在来種は捕獲後、放獣とのことだが、被害状況が酷い場合は猟友会へ委託し処分していただけるのか。

A タヌキ、ハクビシンは日本古来の在来種で、動物保護の観点から捕獲後、放獣となっている。ただし、農業被害の状況があまりにも酷い場合は駆除のため、猟友会への委託は可能となっている。このことから、実際の被害場所や被害状況を知らせていただければ、対応していく。

●男性トイレ個室へのサニタリーボックス設置について

Q 現在の設置状況について伺う。

A 公共施設の主にユニバーサルイレ65力所は既に設置済みであることや利用者数、地域性など考慮し、今回は庁舎、及び公民館16施設の1階男性用個室トイレ42力所へ設置し



鳥獣被害を受けたトウモロコシ

た。既設置施設と合わせると、現在57施設、107力所の設置となる。

●市内小中学校の給食について

Q 千葉県いすみ市等がご飯を全てオーガニック米に転換し、費用負担は市が行っている。米に限らず本市も同様の取組を行う考えはないか。

A 現在、市内及び県内においては、学校給食に必要な量の有機米及び野菜を確保出来る見込みはなく、有機米の価格は通常米と比較して、約2倍の価格となっているため、難しいと判断しているが、今後、他の自治体の事例を踏まえ調査研究していく。

Q

再任用の公民館長が今年はゼロだが

A

適材適所で判断した結果である



ミ ル ク お や じ
村 川 徳 浩



映像は
こちらから

Q 再任用の公民館長(部長級の職員が退職後に再雇用)は現在7人いるが、今年の4月に再任用で館長になった職員は0人(昨年5人)である。地域で重要な役割を担う公民館長人事が、年度によって極端に違うのは問題だ。また1年で異動になる部長も、最近よく見られる。場当たり的な人事ではなく、長期的視野に立つた人事を行うべきではないか。

A 長期的視野に立つて行っており、適材適所で判断した結果である。

●観光客の市内回遊を指定管理者に任せて大丈夫か

Q 深谷テラスの指定管理者、深谷テラスパークエリアマネジメントは、6月以降どのような事業の展開を予定しているのか。

A 4施設連携会議を4月から定期的に行っているが、具体的な連携の

方策は、現在検討中である。まずは土台作りを行っている所である。

Q 産経新聞ネットニュースに、「深谷テラスパークのエリアプロデューサー」○○さんは、近隣市町村を巡るイベントなどを開きたいと話している。という記事が掲載された。深谷市が報酬を払うエリアプロデューサーが、アウトレット客に市内回遊を促す自主事業を示せない段階で、近隣市町村を巡るイベントを口にするのは、いかがなものか。

A 発言の一部を切り取られた結果、掲載された記事であり、地元地域の回遊性の向上を第一に考えていると確認が取れている。

